

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	りずむはーと金田		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	十分な広さの療育スペース	視覚的な誘導や見通しが立ちやすいスケジュールの掲示などを行っています。また、クールダウンを行うスペースや必要に応じて児童の使用できる個室の確保もしています。	広さがある分、死角や手の届かない範囲が広がるため、より安全に配慮できるような環境設定と職員の意識付けを強化していきます。
2	職員間の連携や情報共有、研修の実施	毎日子ども達が来る前にMTG、帰った後も振り返りをしている。また、社内・外部問わず積極的に研修に参加できるような体制づくりをしています。	頻度や参加数を落とさないよう継続して行っています。
3	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	プログラムの内容や曲の選定など、定期的にご利用児に聞き取りを行いながら、プログラムの内容を職員で話し合っ決定しています。	流行の曲などを取り入れたり、季節の行事なども積極的に行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等の開催が出来ていない。	現状、保護者会の開催に関わる要望等の聞き取りが出来ていない。	・まず希望の確認。希望があるだけでなく、まずはこちらから企画をしてみたり情報発信をすることでアプローチする必要がある。 ・保護者やきょうだいが交流の機会を設けられるよう、検討する
2	地域との関りや保育・教育の場との関り。	保護者からの要望を受けて、会議等に参加することは多いものの、関わり自体があまり多くない。	関係機関との連携を強化できるよう、学校、保育所等の情報収集が出来るような体制を整えています。また、地域のイベントなどの情報を集め、関わりが持てるよう企画、立案を行っています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 りずむはーと金田

公表日 2026 年 3 月 5 日

利用児童数 7

回収数 4

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3			1		人員配置などの説明を改めてさせていただきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3			1		実際の療育の場を見ていただける機会を増やしていき、支援の内容を確認していただけるよう、体制の整備に努めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3			1		実際の療育の場を見ていただける機会を増やしていき、支援の内容を確認していただけるよう、体制の整備に努めていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3		1			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2		1	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1	1	1		面談・説明の機会をより増やしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		1	2		今後、保護者会やきょうだいが参加できるような企画の立案を進めています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2		1	1		面談・説明の機会をより増やしていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	1		1		情報の掲載場所の情報などの周知を進めていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			2		避難訓練の開催のお知らせや、聞き取りを通じて防災マニュアルの説明を希望に応じて行っていきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3			1		より迅速で丁寧な説明が出来るよう職員間で確認していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	1		2		より迅速で丁寧な説明が出来るよう職員間で確認していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名						公表日	2026年3月5日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		適切に確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		適切に配置しています。	送迎時などに職員が一時的に少なくなる時間もありますが、利用児の状態なども考慮しながら、より安全に利用できるように調整していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	段差はあるものの、職員への周知、安全への配慮は十分行っています。	段差などはあるものの、現状車いすで利用される方がいないため、必要に応じて環境の調整を行っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		適切です。毎日活動前後に清掃と消毒を実施しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		療育室とは別の個室も使用できるようになっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	5		日々、活動後に振り返りを行うとともに、事業所会議も月一回行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者様へのアンケートや評価の実施、保護者様からの意見をもとに改善に繋がっています。	保護者様からのアンケートについて職員で話し合いを実施し、改善に繋げていく仕組みを作っております。今後、業務改善や施設改装等の必要性があれば着手していきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ミーティングや事業所会議に於いて、職員が意見を言いやすい雰囲気を作り、出された意見については真摯に受け止め業務改善に繋がっています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	現状、第三者評価は行っていません。	第三者による外部評価については、今後の課題として検討して参ります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		定期的な内部、外部に関わらず研修の実施・参加を行っています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		毎月の療育内容を保護者の方にお配りしています。また、HPにて5領域別に分類したプログラムを公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		適切に作成されています。保護者様のご意向、児童の特性を把握した上で個別支援計画書を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		事業所内でミーティングを行い計画の作成を行っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画は職員が閲覧できる状態にしてあり、定期的に確認をしています。	R8年度よりHUGを利用し、より確認しやすい体制にしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		独自のフォーマットを使用しながら行っています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		個別支援計画書に於いて、ガイドラインに沿った支援が設定されています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		翌月の活動プログラムを職員全員で立案し、改善点の必要なプログラムについては実施方法を検討しています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		プログラムの内容や曲の選定など、定期的に利用児に聞き取りを行いながら、プログラムの内容を職員で話し合って決定しています。	流行の曲などを取り入れたり、季節の行事なども積極的に行っていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		プログラムの中で、個別に行うもの、集団で行うもの、他者と協力して行うものなどを折り込みながら行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々、記録をとっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		適切に作成されています。 保護者様のご意向、児童の特性を把握した上で個別支援計画書を作成しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		① 自立支援と日常生活の充実のための活動、② 創作活動、③ 地域交流の機会の提供、④ 余暇の提供、を網羅できる活動の工夫をしています。	③ 地域交流の機会の提供、に関しては、十分に行っているとは言えないため、今後活動に取り入れて参ります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		児童の発達状況に応じた自己選択ができる機会を提供しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		意見書の作成、幼稚園、保育所見学等を行えるような体制づくりをしています。また、関係者会議なども併せて行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		意見書の作成や、保護者に許可を取ったうえで、事前の電話連絡等を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			参加しています。	継続して参加していけるよう体制の確保に努めます。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		基幹センター等が主催する研修等に参加することで、横のつながりを広げております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		プライバシー及び感染症へのリスクから、現状では機会を設けておりませんでした。	今後はプライバシーの配慮の観点から利用者ニーズを把握したうえで、必要があれば地域の子供たちとの交流が図れるような企画の立案を進めています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時の引き渡し時や連絡帳やメール、電話連絡の他に、必要に応じて面談やで助言・支援を行っています。	引き続き、保護者様との意思疎通、共通理解、信頼関係の構築に努めて参ります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		ご家族向けの講演などは案内しています。	自社内でも研修の機会等が設けられるよう企画等を進めています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明を行っています。また、変更があったときなどには適宜説明する機会を設けています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		毎年保護者様にアセスメントシートの記入を依頼し、児童の状態を確認しています。また、5領域に沿ったアセスメントシートの作成を行っています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		個別支援計画書を新たに作成した時は、保護者様に支援内容の説明を行った上、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		日々の送迎時や電話連絡やメールにて実施しています。必要に応じて事前に保護者様と連絡を取り、ご家庭や事業所にて面談を行い、相談、助言を行えるよう体制づくりをしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	発表会の開催は行ったものの、保護者会などは行えていません。	今後、保護者会やきょうだい参加ができるような企画の立案を進めています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情相談窓口、苦情解決責任者を選定し、重要事項説明書及び事業所入口にて連絡先等を提示しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		Facebook、Instagramを活用して活動内容を発信しています。また、月間、年間の活動予定も配布しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		十分に配慮し、プライバシーにかかわる書類は鍵付き書庫にて保管しています。必要があるときは保護者様への説明と同意を得て個人情報を使用しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		児童の特性に合わせて、口頭や文字伝達の他に絵カードや写真等を使うといった配慮を行っています。また、外国籍の保護者様には振り仮名や、連絡帳の記載に漢字を少なくする等の配慮を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		現状、地域の方を招待しての企画等は行っていませんが、今後進めていけるように機会を探っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルは策定され、全職員に周知しており、火災、地震を想定した避難訓練を実施しています。また、当事業所での防災マニュアルの説明と保護者様への配布を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定し、HPにて公表しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		事前にアセスメントシート及び保護者様からの聞き取りにて確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		事前にアセスメントシート及び保護者様からの聞き取りにて確認しています。また、アレルギー児の一覧の作成や、各種名簿、個別のファイルの背表紙などにも表示して、すぐに確認できるようにしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を策定し、全職員に周知しています。安全への意識を常に持ちながら支援を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画は策定されています。また、緊急時の引き渡し方法や連絡方法も防災マニュアルの配布と併せて説明しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		日々のミーティングの中でヒヤリハット事例を共有し、記録、ファイリングして閲覧できる状態にしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		法人内にて虐待防止委員会を設立し、虐待防止に関する研修を実施しております。また、行政から発信された虐待等に関する外部研修も積極的に参加しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		法人内にて身体拘束防止委員会を中心に、身体拘束に関する研修を実施しております。重要事項説明書に身体拘束の禁止を明記しており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は、予め必要な書面を用意したうえで保護者様の同意を得て実施しています。	今後も身体拘束は行わない基本姿勢を守り、まずは沈静化できるような関わりをして参ります。	